

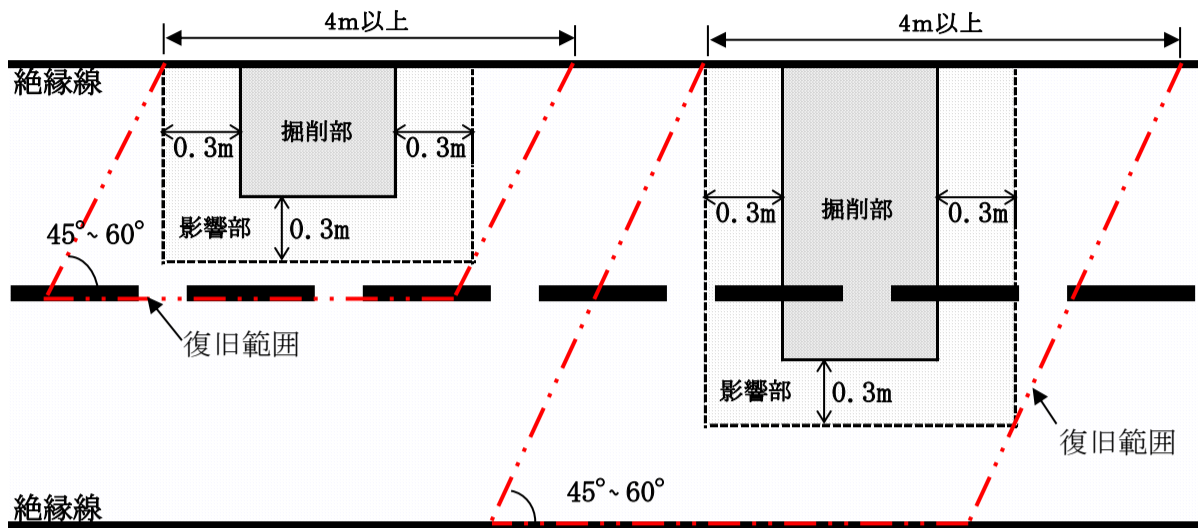
道路占用工事等に伴う道路掘削時の復旧幅指示要領

(1) 舗装工事後3年未満の道路（掘削規制がある道路）

①車線区分のある道路

- ・車線区分までの復旧かつ4m以上復旧又は全面復旧かつ4m以上復旧
- ・白線（センターライン等）等又は対向する絶縁線から45°～60°の角度で復旧すること

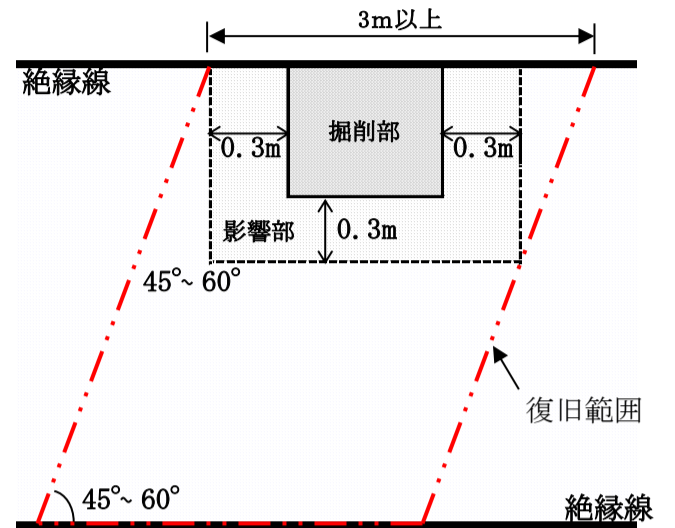
【参考】



②車線区分のない道路

- ・全面復旧かつ3m以上復旧
- ・白線（センターライン等）等又は対向する絶縁線から45°～60°の角度で復旧すること

【参考】

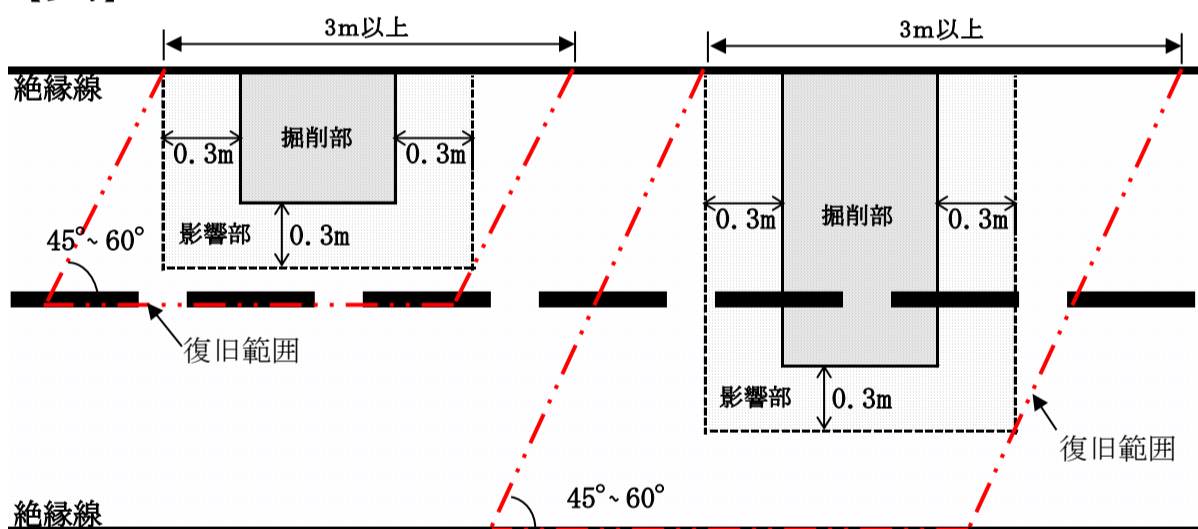


(2) 舗装工事後3年以上経過している道路（掘削規制のない道路）

①車線区分のある道路

- ・車線区分までの復旧かつ3m以上復旧又は全面復旧かつ3m以上復旧
- ・白線（センターライン等）等又は対向する絶縁線から45°～60°の角度で復旧すること

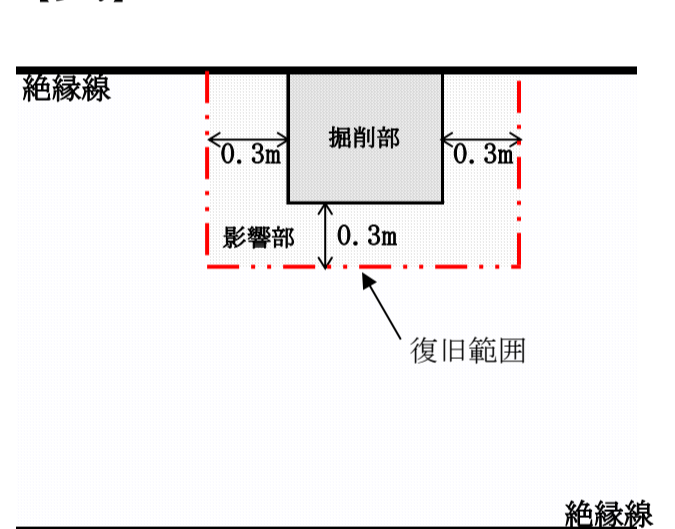
【参考】



②車線区分のない道路

- ・掘削部から0.3mの影響幅をとり復旧

【参考】

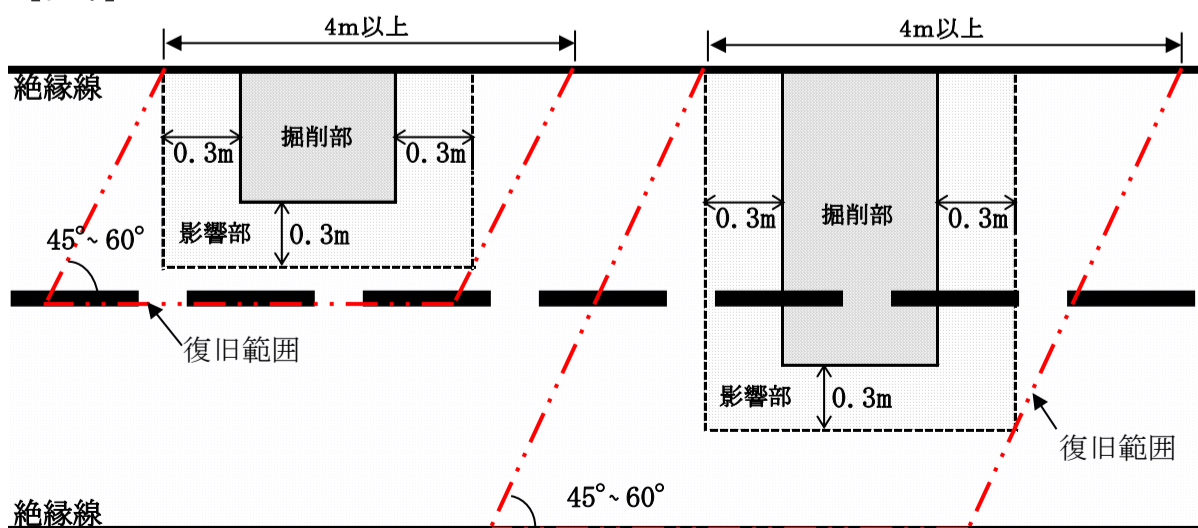


(3) バス通り

①車線区分のある道路

- ・車線区分までの復旧かつ4m以上復旧又は全面復旧かつ4m以上復旧
- ・白線（センターライン等）等又は対向する絶縁線から45°～60°の角度で復旧すること

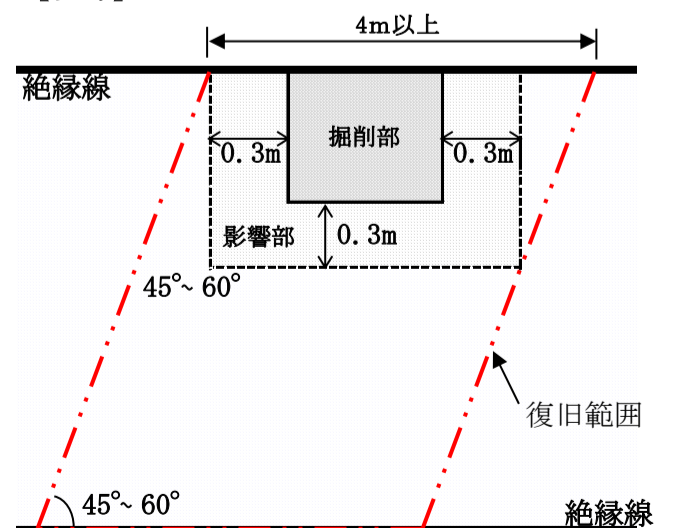
【参考】



②車線区分のない道路

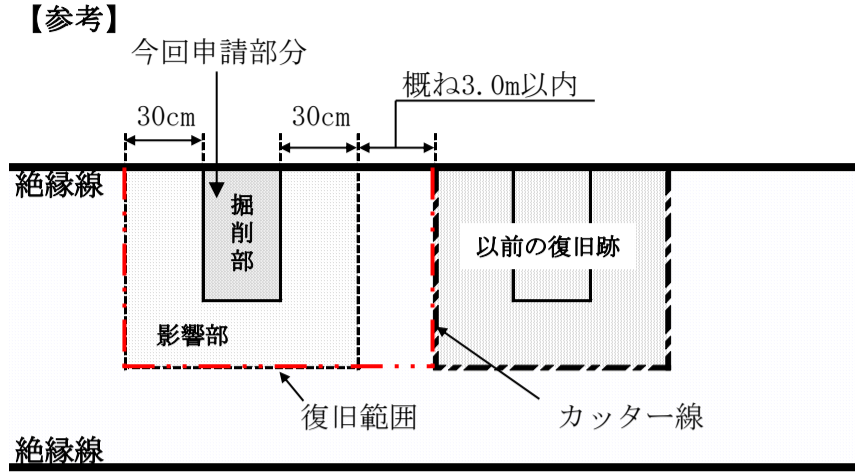
- ・全面復旧かつ4m以上復旧
- ・白線（センターライン等）等又は対向する絶縁線から45°～60°の角度で復旧すること

【参考】

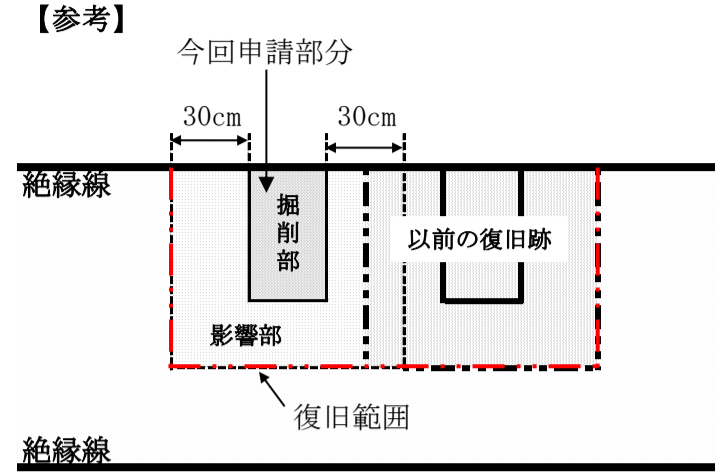


(4) 付近に Cutter 線や復旧面がある場合

- ①影響幅復旧の側端から概ね3.0m以内に Cutter 線がある場合
 ・隣接の Cutter 線まで復旧すること

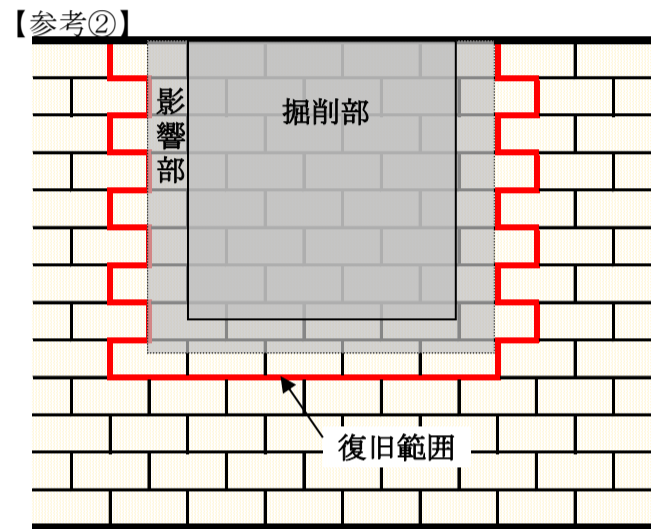
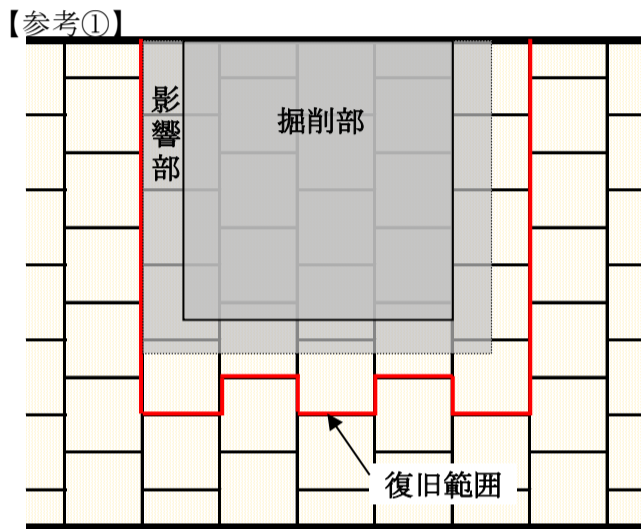


- ②影響幅の範囲内に以前の復旧跡がある場合
 ・隣接の復旧跡も含めて復旧すること



(5) タイル、特殊ブロック舗装等

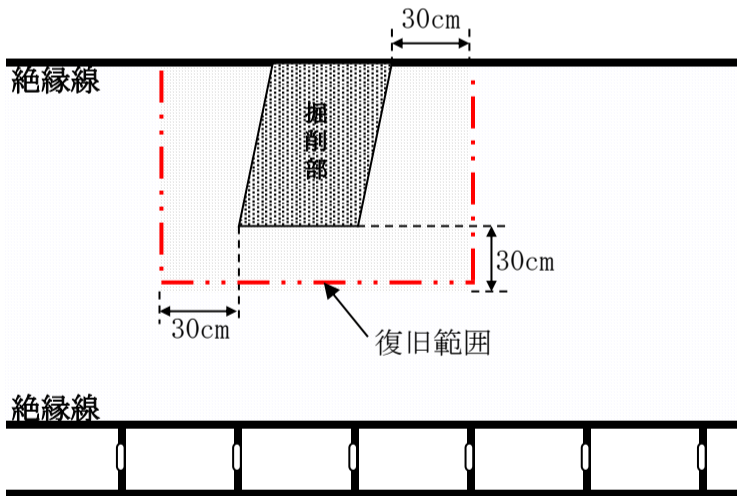
- ・タイル、特殊ブロック等については影響部分にかかる範囲を復旧すること。



(6) その他

- ①斜めに占用物を敷設する場合

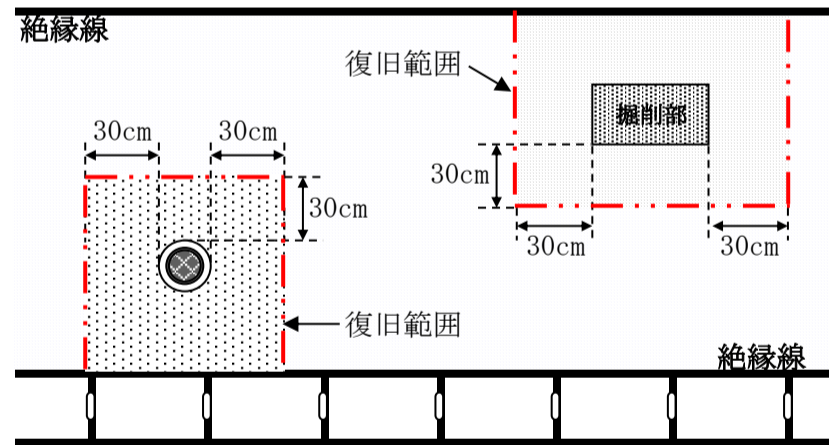
【参考】



- ②栓止め工事等の場合

【参考】

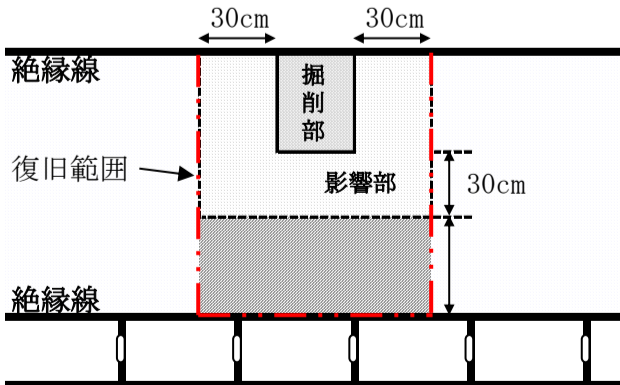
いずれか近い側の側溝や路端に寄せて復旧すること



(7) 共通事項

- ①影響幅確保後の絶縁部までの残存幅員が、120cm未満の場合

- ・舗装の絶縁部までの残存幅員が120cm未満の場合は残存部分（左図の斜線部分）も含めて復旧すること。



- ②この指示要領に記載のない掘削を行う場合や、大規模な掘削を行う場合には、別途道路管理者と協議すること。